国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチだより(2017年4月号)

ひとり一人に感じ取ってもらい心に宿す

今年度も様々な活動を通じて、より多くの人々の心に訴えかけていきます

桜が咲き誇り木々が緑に色づく春。新年度を迎え、気持ちを新たにスタートする人も多いことでしょう。プロ野球やJリーグなど、プロスポーツも開幕を迎え、様々な話題がニュースとして日々私たちに飛び込んできます。コートやジャケットがいらなくなり日増しに暖かくなるこの季節は、どこか心が躍り外の景色も明るく写ります。しかし、季節に関係なく世の中では心が痛む事件がなくなりません。人権とは命と幸せを守る権利です。人権の根本が奪われる事件は、本当に辛い気持ちになります。事件が起きる前に何かできなかったのか?いつも悔やまれます。いろいろな立場の人間がいて、環境によっても様々な人格が形成されます。その過程で、人を大切にする気持ち、人を思いやる心が身に付いていれば、その行動も判断も違っていたはずです。



私たちが活動している人権啓発は、形のない人の心に訴えかけるものです。それを感じ取ったとしてもその印や証拠となるものはありません。ひとり一人に感じ取ってもらい心に宿すしかないのです。その形がないものを受け取ってもらいたいという想いで活動しています。パネル展、講演会などがきっかけとなり、人権を理解してもらい、人を大切にする気持ち、人を思いやる心を感じてもらいたいと願います。人権啓発に終わりはありません。今年度も様々な活動を通して、より多くの人々の心に訴えかけていく所存です。

人権啓発講演会&音楽会2017



ディエゴ・ヤスカレービッチ チャランゴ コンサート

世界的チャランゴ奏者、ディエゴ・ヤスカレービッチさんを招いて「人権啓発講演会&音楽会2017」を開催します。「人を大切にしよう」をテーマに、音楽を通じて人権を考え、人を大切にする心を伝え育むコンサートです。

開催日 2017年8月8日(火曜日)

テーマ 人を大切にしよう

会 場 甲斐市双葉ふれあい文化館

入場料 無料

主 催 国連NGO横浜国際人権センター 山梨ブランチ

<ディエゴ・ヤスカレービッチ (Diego Jascalevich) >

1965年アルゼンチンのブエノス・アイレスに生まれる。ワルター・マゾレッティのもとでジャズギターを習い、1993年にローマのEscola de musica de Testaccioに留学。1996年ドイツに移住、音楽教員をしながら作曲家としてカッセル大のDiego H・Feinsteinに師事。以降、演奏家、作曲家としての活動、フェスティバル、コンサートに多数出演し、世界的チャランゴ奏者と称される。2010年初来日、広島、横浜、軽井沢でコンサートを開催。現在、世界各地でコンサートを行うなど精力的に活動している。

<チャランゴ (charango) >

10本の復弦で音も大きくきらびやかで美しい音を奏でるアンデス地方を代表する弦楽器。アルマジロの甲羅で作られることもあるが、ワシントン条約で保護されているため、一本の木材をくり抜いて作るのが現在の主流。

